

# 日本博物学史



[日本博物学史 下载链接1](#)

著者:上野 益三

出版者:平凡社

出版时间:1973

装帧:单行本

isbn:9784582512021

西暦500～1900年に至る1500年間の博物学に関するあらゆることから（人物・事件・事物・業績・事蹟等）を年表形式にまとめた日本博物学の通史。

作者介绍:

上野 益三（うえの ますぞう、1900年（明治33年）2月26日 - 1989年6月17日）は、大阪府出身の昆虫学者、陸水学者。水生昆虫の分類、生態学的研究や、生物学史の研究でも知られる。動物分類学会名誉会員。

大阪府出身。小学校5年生の時に豊中村（現在の豊中市）に引越し、大阪薬学専門学校（現在の大阪薬科大学）を卒業。1923年に京都帝国大学（現：京都大学）理学部動物学科に進学、川村多実二に師事。鰓脚類の研究を行い1926年に卒業、動物学教室の助手に就任した。また在学中にはトワダカワゲラを発見し、のちに新種として記載した。

1929年には京都帝国大学の天津臨湖実験所に講師として就任。1933年に理学博士を授与された。論文の題は「The freshwater branchiopoda of Japan(日本淡水産鰓脚類)」。

1940年に助教授に就任、1943年には川村の後釜として同実験所の所長となった。1953年には京都大学教養部（現：人間環境学部）の教授に就任したが、研究自体は天津臨湖実験所で継続して行った。

1963年に定年退職し、京都大学名誉教授となった。その後は甲南女子大学に移り、博物学史や生物学史の研究に勤めた。1989年6月17日、89歳で死去。死去の前日まで原稿を執筆していたとされている。

目録:

[日本博物学史\\_下载链接1](#)

## 标签

博物学

上野益三

金鱼

日本

历史

08博物

## 评论

-----  
[日本博物学史\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[日本博物学史\\_下载链接1](#)